



JA鹿児島みらい

- 2 常務メッセージ
- 3 みらいを繋ぐ
- 4 トピックス
- 8 女性部通信
- 9 食農教育
- 10 支店企画
- 12 家庭菜園
- 12 不動産情報
- 13 旬を食べよう
- 13 うんまかめし
- 14 読者からのおたより 他
- 16 アートの広場

みらい

2025

10
KAGOSHIMA MIRAI

広報誌
No.61

新しい夢 **どんどん**
育てよう明日を
JAグループ鹿児島

「組合員・地域に愛され、親しまれるJAへ」～新たな未来の創造～

鹿児島市秋季畜産品評会 (P5)





管理経済担当
常務理事
杉山 年美

ピンチをチャンスへ変わる勇気を



JA 鹿児島みらい

組合員・地域住民の皆さまには、日頃より当JAへのご理解と各種事業のご利用を賜り、心より感謝申し上げます。私は、第7回通常総代会におきまして管理経済担当常務理事を仰せつかりました杉山でございます。大変光栄に存じますと同時に、重責に身が引き締まる思いですが、浅学非才を顧みず組合員のみなさまのご期待に応えるべく全力を傾注してまいりますので、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、令和7年度は第3次中期3か年計画初年度となります。当計画の基本目標は、JAの使命である安心・安全な国産農畜産物の安定供給を将来に渡って実現するために「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に取り組みくと、また、人口減少が進む地域社会において、農と地域の結びつきの再構築と安

心して生活することが出来る地域インフラ（経済活動基盤）機能を提供することによる「地域の活性化」に貢献することとあります。また、当JAの目指すべき姿は、①「農業・地域社会の守り手」として、組合員とともに産地を維持することで農業・地域コミュニティを維持していく姿、②「身近なJA」として組合員・地域住民の皆様との接点を増やし、ニーズ（要求や求めているもの）への確に対応することで結集力を高め事業利用や活動参画を増加させていく姿であります。しかしながら、組織の現状とは少なからずギャップ（意見や感情、行動や能力などの大きなずれや食い違い）があります。また、JAを取り巻く環境は「少子高齢化の進展」「組合員減少、就農者減少による担い手不足」「働き手不足、離農者増加」「都市一極集中、若者流出」「自由化、デジタル社会の進展」等々、今までに経験

のないほどのスピードで変化し続けています。このギャップをしっかりと認識し、JAを取り巻く外部環境変化・情勢を踏まえながら、「今何をすべきなのか」を考え実践していくことが重要と認識しています。ただ、このギャップを埋めていくためには、今までと（昨年までと）同じことを同じ様にしては何も変わることは出来ません。変化するための対応は現場にいる役職員の意識改革が必要となりますが、現場にとつての変化は痛みを伴い、嫌がられて文句が出るのは当たり前です。人間はこれまで通りやっている方が楽で、どうしてもそちらに流れようとするし、新しい事をやろうと声をかけても、やることのできない理由を探してしまいます。「人が足りない」「忙しい」「規制上無理がある」「前例がない」などです。このような理由探しの前に「どうしたら出来るかみんなで考えよう」という

意識を持ったチームづくりに取り組んで参りたいと考えております。

当JAの経営理念を達成させるための副題は、①地域の自然を守り、元気な農業を育みます ②組合員や地域住民のくらしを支え、地域社会に貢献します ③JAに関わる全ての人が笑顔あふれるJA活動を展開します の3項目です。経営理念「組合員・地域に愛され、親しまれるJAへ」を念頭に組合員のみなさまから「JAが無いと困る」と言われ、思っていただけの組織になるために、変革の気概を持って取り組んで参りますので、今後も変わらぬご支援ご鞭撻をよろしく申し上げます。



みらいを繋ぐ

畜産

吉田南支店管内 畜産農家

有満 良子さん(84歳)

鹿児島市本城町で母牛5頭と子牛3頭を飼育している有満さん。
「ご主人の正志さんは幼少期から牛がいる環境の中で育ち、50年以上牛飼いと20頭ほどの牛を飼育管理していました。」

それまでは、お手伝い程度でしか牛と関わったことのない有満さんでしたが、体調を崩して餌やりも大変になり始めた正志さんから、個体によって餌の種類や量を微妙に調整していることを教わりました。正志さんが他界されてからは「4〜5年ぐらいは頑張ってみる」と試行錯誤しながら成長する牛に合わせて餌の種類や量を変えて飼育管理を行い正志さんが大切に育ててきた牛を手放すことなく13年間畜産農家として取り組み、地域の生産基盤に貢献しています。

遡ること3年、2022年のセリ市に「しげこの3の2号(妊娠牛)」を出品し、桜島地区(畜産農家)の福山勇也さんが購入。その産子として「しげこ815号」が誕生しました。2023年の第72回鹿児島県畜産共進会3部父系群(12〜23ヶ月令)に「しげこ815号」は出場し、最優秀賞とブランドチャンピオン賞を獲得しています。

365日季節を問わず朝5時30分からの牛の世話で有満さんの一日が始まります。

午後は14時から16時30分と時間を決めて1日2回、牛舎の掃除や餌やりなど牛中心の生活スタイルで日々過ごしていますが、空いた時間は、買い物や鍼灸マッサージなど自分のメンテナンスの時間に活用しています。

餌やりが少し遅れると牛たちが鳴いて催促することもあり、餌の準備をしながら「ごめんね。お腹すいたね」と牛に優しく声をかけていました。

「牛舎がとても使いやすい設計になっており一人でも苦にならないことがなく主人に感謝ですね。これから先、何年できるかわからないけど頭数は増やさず体が動く間は牛中心の生活を送りたいと思います。頑張ります」と笑顔で話していました。



女性部役員とJA役職員との語る会

8月26日、本部で女性部役員とJA役職員との語る会が開かれ、14支部の支部長とJA関係者23人が出席しました。

緒方由美子女性部長と井手上組合長のあいさつのあと、2024年度下期から2025年度上期の女性部活動についてJA役職員へ報告が行われました。

グループワークでは、支部長とJA役職員が3つのグループに分かれ、「一人ひとりが広報マンの実践について」部員が女性部の魅力を発信するためにできることは「」をテーマに各支部の現状や具体的対策などファシリテーション方式で行い、どのグループも活発な意見交換が行われました。

今後、語る会での意見を女性部役員において整理し、具体的な取り組みとして次年度の女性部活動計画の具体策に明記します。

また、JAにおいても活動支援のための取り組みを事業計画に反映させる予定となっています。

緒方部長は「減少していく部員をどうやって拡大していくかなど様々な対策案ができました。発信の方法は色々ありますが活動しているのを見える化することが大切。広報マンとして情報発信していきます」と話していました。



桜島ブランド総合販売促進対策会議

8月12日、桜島支店で2025年度桜島ブランド総合販売促進対策会議が開かれ、桜島果樹振興会や桜島大根部会、鹿児島市、さくらじま旬彩館、JA関係者ら合わせて17人が参加しました。

会では、2025年度の事業計画として、桜島小みかんはネット販売やキャンペーン、イベント等による市場対応の強化や各種媒体（SNS等）を活用した知名度向上、直販体制の強化に努めることを決定しました。

また、桜島大根については、イオンリテール株式会社を中心に伝統野菜である桜島大根の継承と消費拡大、子どもたちの食農教育に取り組みとともに、行政や商工会等と連携したイベントや、サプリメント等を含む加工品のPR販売に努めることを決めました。

関係者は「気候変動が厳しいなか、桜島の特産品を大事に守っていかないといけない。資材等の高騰で不安もあるが頑張つて乗り越えていきたい」と話していました。

今回、役員改選もあり白川会長が再任されました。



小山田・伊敷管内で航空防除

8月12日、小山田支店と伊敷支店管内で54戸の生産農家（約10ha）の水田にドローンを使用し1回目となる水稻航空防除を行いました。

早朝から2班に分かれJA職員が目印の旗と水田の状況等を確認したあと、オペレーターが田んぼを巡回し薬剤を散布しました。

今回、初めて航空防除を依頼した70代の女性は「毎年、田んぼの中で相撲を取りながら薬剤を散布していたので今年は楽をさせてもらいました」と話していました。

長谷宮農指導員は「1回目の散布が実施できて良かった。高齢化が進み生産農家が減るなか、航空防除で少しでも農家の負担軽減に繋げたい。今年は酷暑で病害虫も発生しているので巡回をしながら農家への声掛けをしていきたい」と語りました。





青年部勉強会

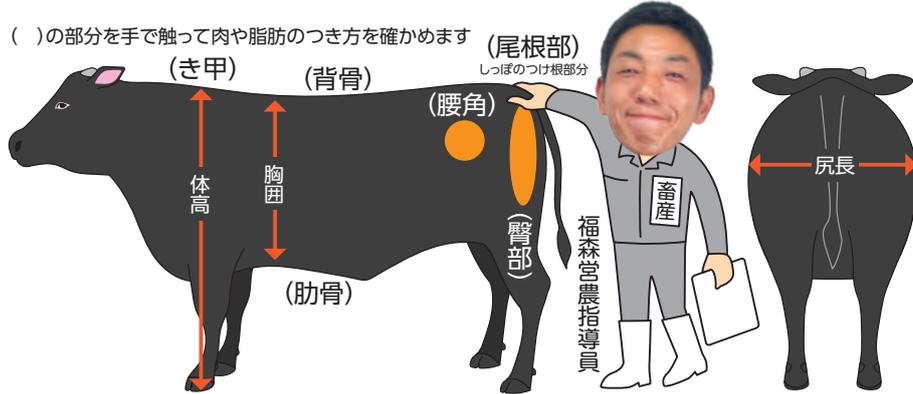
8月20日、青年部畜産支部は勉強会を開き、鹿児島中央畜産農業協同組合連合会、鹿児島市、JA関係者あわせて21人が参加しました。

今回は、9月から始まる品評会を前に調査巡回として桜島や吉野、谷山にある4ヶ所の牛舎を巡回し、出品牛11頭の体高や胸囲、尻長などを測尺したあと、骨格と触診できる「ぎ甲や背骨、肋骨、腰角、臀部、尾根部」の脂肪の蓄積状態など栄養度の判定を参加者全員で確認しながら学びました。

同支部の上水流充哉副部長は「自分が出品する牛の課題や改善点などを明確に指導してもらった。2週間後の品評会に向けて仕上げていきたい」と意気込みを話してくれました。



()の部分を手で触って肉や脂肪のつき方を確かめます



鹿児島市秋季畜産品評会開催

9月3日、鹿児島中央家畜市場で2025年度鹿児島市秋季畜産品評会が開かれ、第1部若雌と第2部若雌、第4部成雌牛あわせて31頭が出品されました。

会場では、関係者が月齢に応じた発育や体形、資質などを審査し、最優秀賞1席に第1部若雌では福山勇也さん(29)の「おとひめ号」、第2部若雌では(有)おおく畜産の「サヤ」(7353号)、第4部成雌牛では福山勇也さんの「しげ」(815号)が最優秀賞1席とブランドチャンピオンに選ばれました。

今回、選ばれた19頭が9月17日の鹿児島中央地区秋季畜産共進会に出場しました。

(※結果につきましては広報誌11月号に掲載します)

鹿児島市秋季畜産品評会の主な結果

■第1部若雌

- 最優秀賞1席 福山勇也(おとひめ号)
- 最優秀賞2席 (有)おおく畜産(さちみらい号)
- 最優秀賞3席 (有)おおく畜産(だいらん4114号)

■第2部若雌

- 最優秀賞1席 (有)おおく畜産(サヤ) (7353号)
- 最優秀賞2席 福山勇也(めるも7号)
- 最優秀賞3席 (有)おおく畜産(ゆっこ1の5号)

■第4部成雌牛

- 最優秀賞1席 福山勇也(しげ) (815号)
- 最優秀賞2席 (有)おおく畜産(あいふく) (7353号)
- 最優秀賞3席 (有)おおく畜産(のこの3065号)





2025 サマーフェスタ 開催

農業資材の高止まりなど農業生産環境が厳しいなか、2024年から「買って応援!食べて応援!」をテーマに県内産の農畜産物をPR販売し、地域農業や生産者を応援しています。



8月9日、生産農家を応援するイベント「地域農家・生産者大応援・JA鹿児島みらいサマーフェスタinかんまちあ」を開催し、市内外から多くの来場者で賑わいました。

オープン式では、井手上組合長が「地域で頑張っている農家や生産者を応援したい、そんな想いでサマーフェスタを開催いたしました。鹿児島市の農畜産物を知っていただき消費してもらうことが農家・生産者の支援に繋がります」とあいさつしたあと、オープンを宣言しました。



買って応援エリア「青年部マルシェ」では、青年部が対面販売で猛暑のなか、丹精込めて作ったコマツナやミズナ、ゴーヤー、ピーマンなど夏野菜のほか、A5ランクの鹿児島黒牛などJA管内で生産された農畜産物を特別価格で販売しました。

食べて応援エリア「みんなでBBQ」では鹿児島黒牛のほか、全て本県産の食材を使用したBBQを通じて農畜産物の美味しさを堪能しました。

ステージでは、市内小中学生バンドやダンス、チアリーディングクラブのほか生産農家による野菜クイズが実施されました。

また、国消国産クイズラリーやガラポン抽選会もあり盛りだくさんのイベントとなりました。



こども食堂へ食材提供

イベント後はJA青年部からコマツナやチンゲンサイ、カボチャ、冬瓜などを市内の5ヶ所のこども食堂へ提供しました。



農産物直売所「ごしよらんお盆フェア賑わう」

8月10日から13日の4日間、農産物直売所「ごしよらん」でお盆フェアが開かれ、新鮮な夏野菜や盆花を買い求める来店者で連日賑わいました。

オープン前の店内では、早朝から同直売所「ごしよらん」部会のメンバーらが朝採りしたカボチャや冬瓜、ミガシキなどのお盆用の野菜やスイカなど旬の果物を搬入し「地元野菜は新鮮で美味しいので、いっぱい食べてもらいたい」と話していました。

屋外には、ホオズキやパンパス、オミナエシなどの盆花や切り花が準備され、開店前から花を選ぶ来店者の姿もありました。

店内では、多くの来店者が買い物を楽しむなか、買い物かごに冬瓜やナス、オクラを大量に購入した6代のご夫婦は「お盆用の野菜はいつもここで揃えています。農家の方が持ってきたキュウリが美味しそうだったので思わず買いました。これから盆料理作り頑張ります」と声を弾ませていました。

今回、JADDO公式LINEを使ったイベント告知も行い、スマホに届いた画面を提示した来店者には粗品がプレゼントされました。

はたらくトラックフェスタ賑わう

8月23日、南栄町にある南九州日野自動車で「見て・触れて・体験して 2025はたらくトラックフェスタ」が開かれ、多くの親子連れで賑わいました。

会場にはトラックやバス、ラリーカー、高所作業車の展示やちびっこ整備士体験のほか、普段見たことのない面白いトラックの試乗などもあり、会場には賑やかな声が響き渡っていました。

当JAも出店し、ジューシーや桜島小みかん、桜島大根の加工品販売のほか、野菜摂取量が指先で測定できるベジメーターも設置されました。

また、小山田支店管内にある上野農園のブースでは、冬瓜やゴーヤー、モウワイ、ミニトマト、ジャガイモなど旬の野菜が販売され、調理方法や保存方法など来場者との対話を弾ませ笑顔が溢れていました。



青年部からの食材提供で焼きそば作り

8月11日、かごしまこども食堂地域ネットワーク「子どもロマン食堂」は、鹿児島市上本町で臨時のこども食堂を開き、ホットプレートを使って、たこ焼き作りやキーホルダー作りを楽しみました。

同ネットワークでは、市内に56ヶ所のこども食堂が地域の子どもたちや色々な世代の地域住民と交流を図りながら、無料で食事やフードパントリー（食品支援）などを提供しています。

同食堂は、2023年にスタートし、カワイックス交流センター（かごしま県民交流センター）を拠点とし毎月第3日曜日をメインに開催しており、かけこ大会や親子ヨガ、料理作りなど体験型のこども食堂として活動しています。

今回はたこ焼きに加え、JA鹿児島みらい青年部から提供されたコマツナやチンゲンサイを贅沢に使った緑黄色野菜いっぱい焼きそばも子どもたちに振る舞われ「美味し」と好評でした。

関係者は「先日いただいた新鮮な野菜の提供に感謝しています。今回は葉物野菜をフルに使いました。いただいた冬瓜などは次回のこども食堂でスープを作る予定です」と話していました。



坂之上支部 ちやぐりんぐ開催

8月6日、坂之上支店で交流会「ちやぐりんぐ」が開かれ、お達者クラブのメンバーとペコちゃん保育園坂之上の園児、女性部坂之上支部の部員合わせて50人が参加しました。

会場では、女性部員の佐々木ミノエさんと夫の佐々木剛さんがボランティアとして参加し、アコーディオンを弾きながら歌や紙芝居の読み聞かせをしました。

今回は、佐々木さんが牛乳パックで作ったボールや竹とんぼ、ストローで作った笛を使い、園児やお達者クラブのメンバーと色々なゲームに挑戦しました。

園児からは、この日のために練習した踊りが披露され、全員でヤングマンを歌いながら踊り、会場には笑顔があふれていました。

最後に園児から手作りのウチワがメンバーに手渡されるとハグをして「楽しかった。お腹が痛くなるほど久しぶりに笑いました。パワーをもらったので来年も参加できるように元気に過こします」と声を弾ませていました。



小山田支部

ランチョンマット作りに挑戦

8月19日、小山田支部は女性部活動の一環として、ペーパークラフトを使ったランチョンマット作りを楽しみました。

同支部は、小山田支店の敷地内にあるふれあい館を運営し、地元野菜や花、手作りの加工品、手芸品などを販売しています。

今回は、ふれあい館の定休日を利用して、みんなで楽しもうと部員である池水キヨ子さんがペーパークラフトを使って、サイズの異なる2種類のランチョンマット作りを指導しました。

部員らは長さの異なるテープを交互に編む作業に試行錯誤しながらも「簡単そうに見えて根気のいる作業ですが、脳トレにもなるので完成目指します」と作業を楽しんでいました。

鶴岡美代子支部長は「久しぶりに部員全員との時間を楽しめました。来月は職員とのランチ会をするのでその時に使えるように仕上げていきたい。これから少しずつ活動の輪を広げて部員との交流を深めていきます」と笑顔で話していました。



谷山東部支部 オカリナで慰問

7月4日、デイサービスセンターとうぶに谷山東部支部オカリナグループのメンバー6人が慰問に訪れ、利用者との会話を楽しみ交流を深めました。

オカリナグループは寺園美智子先生の指導のもと、月に2回、仲間と音楽を楽しみながらデイサービスや地域のイベントでオカリナ演奏を披露しています。

今回は、デイサービスセンターとうぶで利用者の歌声に合わせて演奏し、夕焼け小焼けや七ツさまをオカリナの伴奏と一緒に歌い、優しい音色に気持ちよく歌を楽しんでいました。中には懐かしい歌とオカリナの音色に感動して涙する利用者の姿もありました。



西谷山支部 夏バテ防止料理でおもてなし

8月22日、西谷山支部は南部経済センターにある調理室でランチ会を開き、部員7人が職員に手作り料理を振る舞いました。

調理室では、部員らが猪肉と牛肉を使った2種類のカレーと鶏の唐揚げのほか、デザートに紅茶ゼリー＆ヨーグルトなど6品と部員が持参した酢ラッキョウと漬物も並べられました。

川畑功美子支部長は「みんな元気でこの夏を乗り切ってもらいたいと愛情込めて作りまし。賑やかなランチ会になって良かった」と笑顔で話していました。



ウエリタスこども園 秋野菜作りに挑戦

9月2日、ウエリタスこども園で秋野菜の出前授業が開かれ、年少組の園児ら38人がブロッコリーやキャベツの苗15本の植え付け作業を体験しました。

園児たちは、和田宮農指導員から野菜の特長や植え方、お水のやり方について説明を受けたあと、園内にある畑に2種類の野菜の苗を植えました。

園児らは「楽しいね。お野菜大好きだから大きくなるようにお世話頑張る」と声を弾ませていました。

今回、植えた秋野菜は11月中下旬に園児らが収穫を体験したあと、給食の食材として振舞われます。



青年部「耕作放棄地の復活プロジェクト」桜島大根作り

9月10日、坂之上支店管内にある青年部の「F2畑」で部員とJA職員ら8人が桜島大根100本の種まきを行いました。

JA青年部では、桜島大根の生産農家であり、青年部員の銚之原弘尚さんに指導をもらいながらはじめて鹿児島の伝統野菜である桜島大根作りに挑戦します。

部員らは、種まきや今後の管理作業等の説明を受けた後、2種類の種(桜島おごじよ、在来を大切に時きました。田中竜矢部長は「桜島大根作りのプロがいるので心強いです。伝統野菜である桜島大根の美味しさを多くの人にPRしていきたい」と話していました。

収穫後は桜島大根コンテストへの出品やこども食堂への食材提供を計画しています。



夏休み自由研究・探究活動

鹿児島市在住の高校1年生吉岡芙蓉さんと小学6年生の杏望さんの姉妹が桜島小みかんの栽培や販売のほか、桜島の大地が育てる桜島小みかんの魅力や秘密について学びました。

今回、鹿児島の特産品である桜島小みかんをテーマに、夏休みの自由研究と探究活動に繋がりたいとJAに依頼があり、島内にある火の島めぐみ館やさくらしま旬彩館、桜島小みかんの100年樹、園地など4ヶ所をJA職員が案内する形で見学しました。

さくらしま旬彩館では、中島孝子社長が加工品が製造されるまでの工程を写真パネルで紹介しました。

現地視察では、100年樹を見学した後、JAの桜島果樹振興会の白川隆会長が園地で桜島小みかんの歴史や栽培方法など生産農家の熱い想いを伝えました。

また、吉岡さん家族は初めての摘果作業を体験し「ドキドキしたけど果実を採るたびに柑橘系のいい香りに癒されました。ちよつとすっぱいけど果実も美味しい」と声を弾ませていました。

妹の杏望さんは「桜島小みかんの美味しい見分け方や皮の魅力など色々なことを教えてもらいました。摘果した果実やパウダーを使って柑橘系のバスボムやアロマオイル作りに挑戦します」と笑顔で話していた。

11月下旬には、白川会長のご厚意で桜島小みかんの収穫体験も計画しています。



支店企画

西谷山支店



〈支店紹介〉

西谷山支店はたわわタウン内にある店舗で毎日たくさんの組合員利用者の方にご来店いただいています。

日常のちょっとした相談や将来のライフプランまで気軽に相談できる愛される店舗を目指しながら、これからも笑顔でお迎えし皆様の暮らしに寄り添っていきます。お買い物帰りにでもぜひお立ち寄りください★

〈支店長コメント〉

組合員・地域の皆様に寄り添い、必要な情報を提供し、暮らしをサポートできる、鹿児島みらい農協で一番愛される店舗を目指してまいります。

ご来店お待ちしております。



吉田南支店



〈支店紹介〉

令和3年11月に吉田支店と統廃合し、現在10名の職員が在籍しております。女性部の活動が盛んであり年金受給日には手作りのふくれ菓子とお茶の振る舞い、お客様から大変喜ばれ笑顔が溢れる店舗です。

今後も組合員・地域に愛され、親しまれるJAを目指してまいりますので吉田南支店をよろしく願いいたします。

〈支店長コメント〉

「ONE TEAM」

吉田南支店の今年のスローガンです。職員全員、吉田地区の組合員・利用者の皆様に喜んでもらえる、笑顔の絶えない店舗づくりを目指します。



支店企画

本店



〈支店紹介〉

本店は令和元年11月にかんまち支店と統合し、毎日多くの組合員・利用者の方にご利用いただいている店舗です。組合員や地域の皆さまに寄り添い、質の高いサービスを目指すために日々職員一丸となって頑張っております。ご相談等ございましたら、お気軽にご来店下さい。職員一同、心よりお待ちしております。

〈本店長コメント〉

本店は山形屋立駐となりにあり、職員19名で営業しております。様々な相談に対応しておりますので是非ともご利用ください。



JA鹿児島みらい 2025 特別企画

オータムキャンペーン

令和7年 取扱期間 10/1 水 - 11/28 金

定期貯金 最大0.6%

JA鹿児島みらいキャラクター
みいちゃん

| | | | |
|----------------------------------|-----------------------------|---|-----------------------------|
| 組合員のお客様 (ご家族を含む) ※税引き前 | 組合員以外のお客様 ※税引き前 | お取り扱い対象 個人のお客様 | 貯金の種類 スーパー定期・大口定期 |
| 預入期間 2年 0.40% | 預入期間 2年 0.35% | 預入れ期間 2年・3年・5年 | お預入れ金額 お一人様 30万以上 |
| 預入期間 3年 0.50% | 預入期間 3年 0.45% | さらに JA鹿児島みらいの LINE公式アカウント を 登録いただいた方または、 すでに登録されてる方に 粗品をプレゼント | |
| 預入期間 5年 0.60% | 預入期間 5年 0.55% | | |

LINE登録はこちらから

家庭菜園



ニンニク

保存が利いて使いやすいスタミナ野菜

3.収穫

球根が丸々と太ってきたら茎や葉が枯れ始めたら収穫時期。掘り上げて乾燥させれば秋までもち、また次のシーズンの植えつけに使えます。

1.植えつけ

秋に植えつけをする

1片ごとに分けて、薄皮を残したまま植えつける。発芽までは約2週間、寒冷地では翌春になります。



10~15cmの間をあけて2本の溝をつくり、植えつけの目印にする。球根のとがったほうを上に向けて、溝の上に10cm間隔で置く。



球根を押し込んで、土を5~6cm程度かける。

2.追肥

追肥は年内と春先の2回

発芽後は球根の養分で生長するので、しばらく手をかけずに育てます。



植えつけから約1ヶ月後、化成肥料10gを列と列の間にまいて軽く土寄せする。



春先、生長を始めたなら、列と列の間に化成肥料10gをまいて軽く土を寄せる。土が減っているようなら新しい土を足す。



球根を掘り上げたら、根と葉を切って日陰で乾かす。



保存は風通しのよい日陰に。ネットに入れてつるしてもよい。

不動産センターからのお知らせ

| | |
|--------------------------|-------------------|
| JR指宿枕崎線 坂之上駅徒歩9分 | 3K |
| 賃料 | 50,000円 |
| 内部リフォーム済み★ 駐車場2台付きです。 | |
| 物件名 | 上村貸家5号室 |
| 所在地 | 鹿児島市坂之上6丁目 4-3 |
| 間取り | 和6 和6 和4.5 K4.5 |
| 敷金 | 3ヶ月 |
| 駐車場 | 付無料(2台) |
| 構造 | 木造 |
| 占有面積 | 55.05㎡ |
| 築年月 | 1986年3月 |



賃貸物件、家・土地の売買、リフォーム(外壁塗装・屋根・瓦・内装・浴室・トイレ・台所等)のご相談承ります。お気軽にお問い合わせください。

「売却物件」(土地・住宅・賃貸物件)のご相談承ります。(無料査定・秘密厳守) 気軽にお問い合わせください。

JA鹿児島みらい 不動産センター

鹿児島市東谷山2丁目22-23
JA鹿児島みらい 谷山東部支店2階
TEL 099-268-2263 FAX 099-260-9591
E-mail tny.100-105@ks-ja.or.jp
http://ja-kagoshimamirai.com/



さつまいも

鹿児島といえば、さつまいも!!日本では江戸時代に薩摩地方(鹿児島県)から全国に伝わったため、「さつまいも」と呼ばれるようになりました。腸内環境を整える食物繊維やヤラピンによる便秘改善効果、免疫力を高めるビタミンC、美肌効果のあるビタミンE、目の健康をサポートするベータカロテン、体の機能を調整するカリウムやマンガンなど、様々な栄養素が詰まっている、美容や健康維持に役立つ「スーパーフード」と言えます。乾燥と低温に弱いので、冷蔵庫には入れずに、新聞紙に包んで風通しのよい冷暗所で保存します。



農産物直売所ごしよらんで購入の「森山洋子さんのさつまいも」を使いました☆

さつまいも餅のこんがり磯辺焼き風



材料(3~4人分)

さつまいも…………… 300g
 サラダ油…………… 小さじ2
 しょうゆ…………… 小さじ4
 砂糖…………… 大さじ2と2分の1
 酒…………… 小さじ4
 きざみのり…………… 適量

A [砂糖…………… 大さじ1
 片栗粉…………… 70g
 水…………… 大さじ5

作り方

- ①さつまいもの皮をむき、幅2cmの輪切りにして水に5分ほどさらして水気をきる。耐熱のボウルにさつまいもを入れ、ひたひたになるくらい水を加えてラップをかけ、電子レンジ(600w)で10分加熱する。竹串がスッと通るくらいならOK。
- ②さつまいもの水気をきってボウルに入れ、熱いうちにフォークでつぶす。Aを加えて粉っぽさがなくなるまでよく混ぜ、一口大に丸めて平らにする。
- ③フライパンにサラダ油を中火で熱し、②を並べる。ふたをして弱火で蒸し焼きにし、焼き目がついたら裏返す。再びふたをしてこんがり焼き目がついたら、しょうゆ・砂糖・酒を加えて全体にからめる。器に盛ってのりをふる。

ワンパンでさつまいもガレット



材料(3~4人分)

さつまいも…………… 200g
 ピザ用チーズ…………… 60g
 オリーブオイル…………… 大さじ1
 バター…………… 6g
 はちみつ…………… 適量
 乾燥パセリ…………… お好みで

☆ [小麦粉…………… 大さじ1
 コンソメ…………… 小さじ2分の1
 塩…………… 小さじ2分の1

作り方

- ①さつまいもの皮ごと薄く輪切りにする。
- ②フライパンにさつまいも、ピザ用チーズ、☆を入れて混ぜ合わせる。
- ③②を中火で熱し、フライパンのまわりにオリーブオイルをかけ具材を平らに広げる。
- ④フライ返しで軽く押さえ蓋をし、焼き色がつくまで中火で蒸し焼きにする。
- ⑤こんがり焼き色がついたら裏返し、バターを鍋肌から加え火が通ったら器に盛り付けて、はちみつとパセリをかけて完成。



鹿児島市にも多くの農家レストランがあります。
 愛情がこもった“うまかめし”を紹介します
 (掲載は不定期です)



てのんでファーム

農家レストラン「てのんでファーム」を2021年12月にオープンした今村正次さんと理恵さんご夫婦はレストランを営む傍ら、子どもたちに「生きる力」という想いで、年間70種類の野菜と果樹を育てる農業体験を行っています。

てのんでファームは敷地内にレストランと畑が併設しており、まさに産地直送スタイルで季節の野菜を使った今村家の「おうちごはん」を月替わりで提供し、どこか懐かしい味でお客さんの胃袋をガッチリつかんでいます。

おすすめは酷暑の夏を乗り切る今村家の定番料理であり、てのんでランチでも提供しているミニトマト、ナス、ゴーヤー、カボチャなど夏野菜を素揚げして、ごまポン酢で和えるマリネ。大葉や赤シソは、栄養価が高くカリウムも多く含まれ、刻むことで殺菌効果が高くなるので千切りにした大葉にちくわ、チーズを包んだ大葉増し増しの春巻きと母直伝の赤シソジュースを甘さ控えめにアレンジした夏バテ防止の3品です。一石なん鳥にもなるお手軽料理、夏バテ気味の方におすすめします。



読者からの

おたより



★おたより拝見しました★
JA鹿児島みらい組合長

★みらい8月号で田植え、サツマイモ定植などが数件載っていました。が学校周辺に農地(田んぼ・畑)がある所は良い体験が出来ていいです。都会の学校などは農地が周辺にないので、小さい頃から農業体験ができません

(山田のかかし)

★夏バテ防止は「へちまのみそいため」を食べる事です。「へちま」を食べると言つとビックリされます。トロトロ感が大好きです。家庭菜園のへちまに感謝です。みなさんもへちまを食べましょう！美味しいですよ(必ず1回)

★毎月みらいを見ています。小松菜のパワーで残暑を乗り切りたいと思いました。またオクラ・ナスのお料理レシピはさつそく作りしました。とても美味しかったです。女性部通信のふくれ菓子作り150人分作られたとのこと凄くと思いました。家庭で作りたいのでレシピがあつたらいいなと思いました。

JAで食農教育が行われていることがよくわかりました。子供たちも自分で作った作物は大切に食べるのだと思います (みほ。かな)

理事会だより

第6回(8月28日)

- ① 新規貸出案件について
- ② 管理規程の一部改正について
- ③ 規程等の一部改正および廃止について
- ④ 規約の一部変更について

JA鹿児島みらいの概況(2025年8月末)

| | |
|---------|--------------|
| 正組合員数 | 5,099人 |
| 准組合員数 | 36,561人 |
| 総組合員数 | 41,660人 |
| 貯金残高 | 2,455億1千2百万円 |
| 貸付金残高 | 1,004億4千3百万円 |
| 長期共済保有高 | 5,219億3千4百万円 |

★道の駅巡りが大好きです。野菜をたくさん買って「コマドリ」レシリングで食べるのがとても楽しみです (トコちゃん)

★毎日毎日暑い日が続きます、でも食欲はあります。がんばります (ブルちゃん)

★畑仕事をしながら思う、感じていること①台風が少ない(これから?)②蚊が少ない(6月は多かった)③蜂が少ない④カラスが来ない⑤いつもの朽ち木にカブトムシ、カミキリムシが出てこない...⑥しょうらんのお姉さんから「みらいNO.60」をもらいました。久しぶりに読みました (イモ男)

事前相談はJA葬祭へ

365日・24時間
いつでもご連絡ください



事前相談される方増えてます!

お葬式のと、何をを用意して、どこへ連絡すればいいの? 「もしも」の時慌てないように、事前相談をお勧めします。事前に相談する事により、様々な無駄を省くことができます。先の不安を取り除いておくことで、今を精一杯楽しむ事が出来るのではないのでしょうか?

是非一度、ご相談下さい。

葬儀 法要

事前相談

無料受付中

TEL 220-8800
やすらぎ館

伊敷斎場
宮野斎場
西陵斎場

葬儀 法要

事前相談

無料受付中

TEL 260-4000
天祥館

東谷山斎場
光山斎場
桜島斎場

こののぼりが目印です

谷山北支店で 終活セミナー開催

8月20日、谷山北支店で終活セミナーが開かれ、地域住民ら12人が参加しました。

会場では、JA葬祭天祥館の職員が生前整理や相続等の「終」と、健康や仕事など「活」について説明したあと、エンディングノートの書き方や保管場所など注意点を伝えました。

また、8月25日にはプロのカメラマンによる終活写真撮影会も行われ、7人の方が写真撮影に訪れ「記念の1枚になればと今回おしゃれをして来ました。仕上がりが楽しみです」と笑顔で話していました。



10月・11月は国消国産月間です。

私達JAグループは、地域に寄り添い様々な事業を展開しています。

JAグループは、地域の農業と

くらしを支えています。

- 農畜産物の流通・販売
- 肥料や家畜のエサなどの共同購入
- デジタル技術の活用
- 農業を始める方たちの支援など

農業支援



くらしを豊かにする活動

助け合いの精神で
運営する協同組合

地域に寄り添う様々な事業

- 地域の子どもたちに食と農の大切さを伝える
- 子ども食堂の支援
- 移動購買車の導入で買い物をサポート
- 子育て支援

地域貢献 食農教育



- 地域の健康と
安心を守り支える

病院 高齢者福祉



- 地域でとれた新鮮な
農畜産物などを届ける

JA直売所



- 病気や事故、災害など
万一来臨する

共済



- 貯蓄や融資金融などで
くらしを支える

金融



キリトリ線

▼本誌へのご意見、身近な地域の話、イラスト、絵手紙、写真などお書きください。

ペンネーム



第50回 鹿児島県 JA農業機械大展示会



JAグループ鹿児島コスト低減農機展示!!

※写真はイメージです

開催日時
令和7年11月13日(土)・14日(金)・15日(土)
9:00～15:00(最終日は14:00まで)

場 所 都市農業センター(鹿児島市犬迫4705)

※お問い合わせは最寄のJAまたはJA鹿児島県経済連へ
※例年と開催場所が異なりますのでご注意ください
※初日の**中古農機**の販売は**10:30**から開始いたします

アートの広場

素敵なイラスト・絵手紙・写真をおくっていただきありがとうございます。全ての作品を掲載したいのですがスペースが限られているためご紹介出来ない作品もあります。ご了承ください。



さっちゃん



TOMOちゃん



道男君



8人の孫のばあば



8人の孫のばあば



まりちゃん



まりちゃん



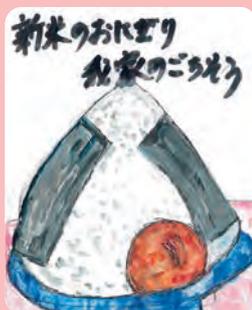
道男君



ヒロちゃん



ずらり



うば桜

皆さまからの絵手紙やご意見・ご要望などご記入いただき、お送りください。お待ちしております！

通年版ギフトカタログ 2025-2026

鹿児島ふるさと便
~大切な方へ、鹿児島からの贈りもの。



●お申し込み・お問い合わせは
最寄りのJAにておたすねください。

●商品に関するお問い合わせは JA鹿児島県経済連ギフトセンターまで 営業時間
フリーダイヤル ☎ **0120-722-188** 月~金 AM9:00~PM5:00 (土日・祝日を除く)

1.商品のお届けについて
ご注文受付日より約10日程度かかる場合がございます。
※メーカーより産直でお届けするため、異なる商品を2点以上お申し込みの場合、お届け日が異なる場合がございます。

2.お申し込み受付期間
2025年4月より
2026年3月31日(木)まで

3.送料について
本カタログ掲載価格は商品代金(消費税込)の金額で別途送料が必要となります。
送料・同梱発送についての詳細は本カタログP23をご覧ください。

4.お申し込み方法
専用申込書に必要事項をご記入の上、
最寄りのJAにてお申し込みください。

郵便はがき

切手を貼って下さい。
又はJA窓口へ

8 9 2 0 8 1 7

鹿児島市小川町27番17号

JA鹿児島みらい本部

広報誌 10月号

「読者からのおたより」係

| | | | | |
|------|-----|--|----|--|
| お名前 | | | 年齢 | |
| 住所 | 〒 - | | | |
| 電話番号 | | | | |

ご応募の際にご記入いただきました個人情報は本誌編集、モニターに関するご案内等以外の目的で使用することはありません。本店、支店の窓口でも受け付けます。